都市計画の原案に対する意見書の要旨及び市の見解

●都市計画名称　：調布都市計画下水道狛江市公共下水道根川雨水幹線ポンプ場
調布都市計画公園第２・２・41号根川公園
調布都市計画公園第２・２・43号もくせい公園
調布都市計画公園第２・２・44号中和泉公園
調布都市計画公園第２・２・45号いちょう公園
調布都市計画緑地第９号根川緑地
原案告示日　　：令和７年８月４日（月）
原案案縦覧期間：令和７年８月５日（火）から８月18日（月）
意見書提出期間：令和７年８月５日（火）から８月25日（月）
意見書数　　：３通　［３名］

	項目	意見（要旨）	市の見解
1	玉石垣	玉石垣は、他に見ない小さな石による石組ですので、文化的価値、建築史的価値が高いものです。保存、移設してほしい。	令和元年東日本台風の根川雨水幹線流域における再度災害防止に向け、引き続き、ポンプ施設設置の検討を進めてまいります。 根川公園及び根川緑地の一部を削除することにつきましては、新たなポンプ施設の整備に適した用地が他にはなく、防災対策上やむを得ず行うこととなりました。 根川公園で削除された緑は、現状、他で補うことはできませんが、狛江市緑の基本計画及び狛江市都市計画マスタープラン・立地適正化計画に基づき、市内の緑の確保に努めてまいります。 玉翠園の玉石垣につきましては、可能な範囲で玉石を取り外し、新たな擁壁に玉石を貼り付けることで、玉石垣の様相を可能な範囲で復元したいと考えております。公園の復元にあたっては、周辺にお住まいの方の御意見を伺って進めてまいります。
2	ポンプ施設・玉石垣	根川公園へのポンプ場設置計画自体は、2019 年の水害対策で必要だと思います。 一方後述の理由から、玉翠園の石垣解体については十分配慮して進めていただきたい。 そのままの保存が難しいのであれば、石垣に使われている玉砂利を公園整備に使用し、ここに玉翠園があったという説明碑の設置を望みます。 （理由） 玉翠園は戦前料亭が営まれ、狛江が景勝地、リゾート地だったことを示す建物であること、戦後朝鮮学校ができた時期もあった（中央公民館「郷土のむかし講座」平成 13 年（2001）年度）など狛江と朝鮮の人々とのかかわりも示されています。市と共催の平和フェスタ 2011 のパンフでは玉翠園は「日本人	

		と朝鮮人とのかかわりを色濃く映し出す時代の鏡」と取り上げられています。	なお、現在の根川公園内に設置されている説明看板につきましては、公園の復元後も設置する予定です。 また、玉石垣を撤去するにあたっては、事前に発掘調査を行い、報告書としてまとめ、記録を残すようにいたします。
3	ポンプ施設・緑・玉石垣	当面の災害防止を考えるとポンプ場は必要です。一方、根川公園が大幅に縮小され、狛江の緑が減ることは残念であり、位置づけの変更だけでなく、実際に緑地が増える（減らない）ための手を打ってほしいと考えます。 また、根川公園内にある玉翠園の石垣を解体することについては、何らかの形で石垣に使われている玉砂利を利用するとの方針が示されていますが、市民の声も聞いて、丁寧に行われることを希望します。 玉翠園は、戦前は、料亭が営まれ、川べりで富士山などよく見えたことから景勝の地、リゾート地のようであったこととされています。その点は、ロータリークラブにより説明看板が設置されるなどしています。他方で、戦前戦後を通じて、在日朝鮮人の方々とのかかわりも多い場所だったことも記録されています。狛江の郷土史料として扱われることを希望します。	